

コミュニティガーデンの効果

コミュニティガーデン活動を成功させるのは、市民・企業・行政がそれぞれ協力しあいながら、お互いを尊重しあい責任を持って役割を担っていく「パートナーシップ」の関係です。『お互いを尊重しあい協力する』気持ちが重要です。パートナーシップに基づき、コミュニティガーデン活動が充実していくと様々な効果が生み出され、花と緑の潤いのあるコミュニティが形成されます。

1 花と緑の潤いスペースの増加

- ・ 花と緑の豊かなコミュニティガーデンが創出されます。
- ・ 美しい景観や良好な環境が地域の財産となります。
- ・ 花や緑とふれあう場や、やすらぎの場が形成されます。



2 コミュニティの再生

- ・ だれもが参加しやすい気軽な地域社会が形成されます。誰もが参加できるようにし、地域のためにできることをできる時間に行える仕組みにすれば、「雑草取りをしたよ」「害虫を駆除しておいたよ」等で普段話したことのない方とも会話ができます。
- ・ 仲間づくり、集いの機会が生まれます。
- ・ 尊重しあい助け合うまちづくりのきっかけが生まれます。
- ・ 地域への愛着や誇りが育ちます。
- ・ 地域であいさつし合うようになると、防犯効果も高まります。



3 パートナーシップ型社会の形成

- ・ 色々な組織や団体がともに地域について考える機会となります。
- ・ やりがいと成果が実感できるボランティア活動の場となります。
- ・ 違う世代の方と話す機会が増えれば、いろいろなことを助けあったり、教えてもらったりすることができます。
- ・ 企業市民としての役割が発揮できます。